



今月の表紙は、8月17日にハッピーネス・ヒル・幸田で開催された「こうた夏まつり」です。今年は2年ぶりの快晴で、例年よりも多くの方が会場を訪れ、キッズダンスや町民総踊り、打ち上げ花火などで幸田の夏を楽しみました。

今月の表紙

みんなの
広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

行って! 見て! 納得!
こうたの歴史

六栗陣屋

六栗陣屋(六栗字山屋敷59)は、旗本小笠原氏の支配地であった寺嶋村・上永良村(現西尾市)、上六栗村、下六栗村の2千石を支配するために置かれた陣屋です。

上・下六栗村は元禄7年(1649)までは旗本板倉氏領支配地(陣屋は深溝)であり、永井氏が代官として村の管理・運営をしていました。その後、幕府直轄領を経て、元禄10年(1652)に小笠原氏領となりました。領地支配の陣屋は、元々は寺嶋村にありましたが、文化14年(1817)ごろに、六栗村に移されたと考えられています。

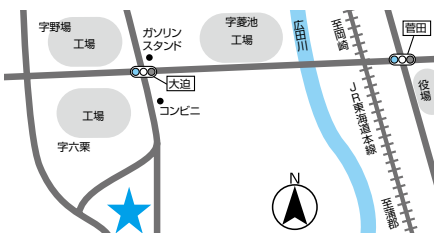
小笠原氏は、本家は吉田藩(豊橋市)4万5千石の藩主として幕府老中を務めるほどの人物を輩出する家であり、分家して陣屋領主となった小笠原氏は旗本として書院番・小普請などの役職についていました。常に江戸屋敷に住んでいたため、陣屋における知行地支配は代官であった

上永良村の加藤氏、六栗村の志賀氏が行っていました。

陣屋は明治維新とともに取り払われ、跡地には明治5年(1872)に六栗郷学校が設立されました。学校設立には代官であった志賀氏が尽力したと伝えられています。学校は明治25年まで続き、その後、六栗八幡宮境内に移りました。

現在、六栗に陣屋そのものを伝える遺跡は残っていませんが、観音寺の境内奥には領主小笠原氏の墓塔が築かれており、六栗の発展を見守っています。

問合せ 生涯学習課生涯学習G(内線195)



【参考資料：六栗郷土誌】

みんなの作品展!

平成25年度 春の文化展 書道展からのセレクトです。



貝吹 竹香 さん



坂本 恵泉 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入の上、企画政策課広報広聴Gまでお送りください。(デジカメ写真の場合はメールで)

「おっほ」

きょうは「中秋の名月」。おだんごのお供えをした縁側に、お飾りのススキを切ってきたおじいちゃん…
「こやのー、オバナっちゅーだわ。穂がおっほみてーだもんだん」

「これはね、オバナ(尾花)と言うんだよ。穂がしっぽ(尾)みたいだから」という意味です。

「しっぽ」は「尻尾」と書き、文字どおり「しりお」と書いていたのが「しりっぽ」に転じ、それがさらに転じて「しっぽ」というようになったそうです。でも、「しっぽ」が「尻尾」だと、「おっほ」は「尾尾」になってしまいますよね。「しりっぽ」が「しっぽ」になったのは、理解できますが、「しりお」はどうなっても「しりっぽ」にはなりません。

先のほうを「先っぽ」というように、「尻のほうを「尻っぽ」といつていたのが、尻に付いている尾も「尻っぽ」というようになったと考えるのが自然です。「しっぽ」が「尻っぽ」なら、「おっほ」は「尾っぽ」ですっきりはまります。「おっほ」は、この地方特有の方言ではありませんが、「しっぽ」と重ねてみると、なかなか深いですね。

(文・こころ)

西川 道子 さん



青春トークリレー
第246走者

あまのともえ
天野 朋恵 さん

野場区在住 23歳

好きなチーム USTとTands

私は、小学生のころからユニバーサルホッケーに取り組んできました。現在は、統合され「ネオホッケー」という競技になり、新しい道具とルールに試行錯誤しながら練習に取り組んでいます。町や県をはじめとする多くの大会にも参加し、技術を磨くだけでなく、ほかの地域の人たちともこのスポーツを通して交流することができました。

また、去年は統合1年目ということもあり、プレイヤーとして活動することで精一杯でしたが、今年は自身が所属するクラブの小学生の指導に力を入れていきたいと考えています。そして、より多くの人にネオホッケーが親しまれるスポーツになってほしいと考えています。



えごたん「泣くな編集者！皆さんにちゃんと告知しなさい！」
えごたん「こわ！そうそう、さりげなくフェイスブックに幸田町のページあります。町HPの右側にあるアイコンからどうぞ」(T)



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



6月某日、カンボジアから保育の勉強のために2人の研修生が来園されました。1日目は子どもたちも研修生もお互いとても緊張していて、なかなか話ができません。話しかけてもいまいちな反応しか返ってこず、子どもたちも

「ありがとうはオータンクメール語に触れた5日間」

わんぱくぐらふり
「某月某日
幸田保育園」



少し困惑気味！「仲良くなれるのかな？」と保育士が心配していると、なんと次の日には「一緒に遊ぼう」と話しかけ、絵合わせカードをやったり、手品に挑戦したり…。突然の子どもたちからの誘いに研修生も少し困惑していましたが、楽しく遊ぶ姿が見られました。

短い時間でしたが、クメール語も少しだけ教えていただき、最終日にはお土産もいただきました。いただいたお土産は「アプサラ」という古代インドの神話に登場する天女がついている鈴でした。子どもたちに「みんな大事にしようね」と約束して保育室に飾ってあります！本当に短い時間でしたが、子どもたちにとっても良い経験をさせていただいたら5日間でした。



ちびと編集者のわんぱくぐらふり

▼どうも。夏もそろそろ終盤かと思いきや、まだまだ暑い日が続きます。アツイといえば、先日、亀田3兄弟が世界で初めて3兄弟の世界チャンピオンという快挙を成し遂げました。すごい！しかし、ここにもう一人、チャンピオンベルトを巻く者が現れましたよ。

というのも、腰のヘルニアを再発しまして、いわゆるコルセットってやつです。僕はそれをチャンピオンベルトと呼んで、たまに肩に掛けて鏡の前でファイティングポーズをとって遊んで、ません。

僕がチャンピオンになった理由は、深夜3時ごろにおそらく寝返りをうったんだと思います。その瞬間にピキーンとすさまじい激痛に襲われて目が覚めました。そこから、かの武田信玄もびっくりするほどの「ごっかざること山のごとし！」でした。体勢も変えれず、少し動いては激痛が治まるのを待って…を繰り返し、なんとか起き上がったときには朝5時。2時間も経過していました。病院で注射を打ってもらい、今はなんとか回復しましたが、ここ1年で腹筋や背筋の筋トレを完全にサボっていたせいですね。定期的な運動の大切さを改めて思い知りました。うえーん。泣。